

怪奇・幻想・ホラー 基本図書30選 (図書館長選) 図書館便り11月3号

海外編

黒猫・アッシャー家の崩壊	短編集	ポー	新潮文庫	ポーはミステリだけでなくホラーの祖でもあったのです。
フランケンシュタイン	長編	シェリー	創元推理文庫	フランケンシュタインは博士の名前。怪物には名前がない。
吸血鬼ドラキュラ	長編	ストーカー	創元推理文庫	数多ある吸血鬼物の原点。日記形式なので意外と読みやすい。
ジキル博士とハイド氏	長編	スティーブンスン	創元推理文庫	誰もが一度は聞いたことがあるでしょう。古典的名作。
怪談	短編集	小泉八雲	光文社古典新訳文庫	「雪女」や「耳なし芳一」など。八雲は英国人なので海外編で。
インスマスの影	短編集	ラヴクラフト	新潮文庫	カルト的な影響力を持つラブクラフトの傑作集。
シャイニング 上・下	長編	キング	文春文庫	キングはホラーの帝王。キングだけでこの表を埋められる。
赤ずきん	絵本	ムーン	西村書店	写真絵本。多分みんなの知らない赤ずきん。
20世紀の幽霊たち	短編集	ヒル	小学館文庫	ヒルはホラーの帝王キングの息子だけど、七光り無用の才能。
怪奇小説傑作集 1～5	短編集	ブラックウッド他	創元推理文庫	基本中の基本。古典的な名作がずらり。
八月の暑さのなかで——ホラー短編集	短編集	サキ他	岩波少年文庫	続刊も合わせて読みたい。有名どころは一通りおさえられる。
中国怪奇小説集	短編集	岡本綺堂	光文社文庫	中国の怪異譚が二百余編。素晴らしい訳文。
エドワード・ゴーリーが愛する12の怪談 憑かれた鏡	短編集	ディケンズ他	河出文庫	編者ゴーリーは絵本作家。収録短編すべてゴーリーの挿絵付き。
影が行く ホラーSF傑作選	短編集	ディック他	創元推理文庫	SFとホラーは相性がいい。
死んだら飛べる	短編集	キング他	竹書房文庫	飛行機テーマのアンソロジー。機内では読めない。

国内編

リング	長編	鈴木光二	角川ホラー文庫	今や貞子がキャラクター化してしまったが、原点は違う。
幻色江戸ごよみ	長編	宮部みゆき	新潮文庫	宮部みゆきはこういうのもべらぼうに上手い。
六番目の小夜子	長編	恩田陸	新潮文庫	『蜜蜂と遠雷』の作者はこういうのも書くのです。
高橋克彦の怪談	長編	高橋克彦	祥伝社	高橋克彦は直木賞作家にして、怪談小説の第一人者。
黒い家	長編	貴志祐介	角川ホラー文庫	結局一番怖いのは人間とはよく言われるが、これは本当に怖い。
夜市	短編集	恒川光太郎	角川ホラー文庫	怖くないホラーといえいいのか。不思議な感覚。
Another 上・下	長編	綾辻行人	角川文庫	ホラーと本格ミステリがこんなに見事に融合するなんて。
残穢	長編	小野不由美	新潮文庫	読んでいると後ろで何か起きているような気がしてきます。
いるのいないの	絵本	京極夏彦/町田尚子	岩崎書店	絵本だからといって侮ってはいけない。絵も文も素晴らしい！
なおみ	絵本	谷川俊太郎/沢渡朔	福音館書店	写真絵本。一度読んだら(見たら)忘れられない。
異形の白昼 恐怖小説集	短編集	筒井康隆編	ちくま文庫	筒井康隆が選んでいるということは、当然名アンソロジー。
日本怪奇小説傑作集 1～3	短編集	江戸川乱歩他	創元推理文庫	明治から昭和までの名作を網羅。さすがのラインナップ。
平成怪奇小説傑作集 1～3	短編集	吉本ばなな他	創元推理文庫	平成の世に発表された傑作を網羅。これもさすがのラインナップ。
文豪ノ怪談 ジュニア・セレクション	短編集	夏目漱石他	汐文社(1～8巻)	中高生用にルビ付き、注付きの親切な造り。格好の入門書。
文豪怪談傑作選 全18巻	短編集	川端康成他	ちくま文庫	ジュニア・セレクションでは物足りなくなったら……。